

日本の竹ファンクラブ通信

編集・発行 日本竹類総合研究所・特定非営利活動法人日本の竹ファンクラブ
横浜市都筑区中川1-5-19 プロミネンス14-304号 TEL&FAX: 045-306-9993 MAIL: office141@takefan.jp
URL: http://takefan.jp
現在の会員数 正会員 128名/準会員 8名/賛助会員 個人 16名・団体 2・法人 3 (竹取協力隊 110名)

持続可能な成長と発展を目指して！

2019年度総会報告と決議のお知らせ

6月16日、城郷小机地区センターで2019年度の総会が開催され、以下のとおり報告および決議されました。第1号議案、第8期事業報告並びに収支決算報告・監査報告の件、第2号議案、第9期事業計画並びに収支予算書の件、についての内容及びその監査結果についての報告をいたしました。議案は原案通り承認されましたのでお知らせいたします。以下第8期の事業報告と第9期の事業計画の概要について報告します。

1. 第8期事業報告

今期は天候に左右されない事業モデルの確立をテーマに活動を推進してきました。新規プロジェクトの立ち上げはなりませんでした。竹灯籠まつりの再開が叶い、平常体制に戻りました。

(1) 竹林の環境保全と活用に関する事業は昨年同様六ヶ所、10.8haの竹林整備を完了しました。しかし、いくつかのフィールドでは作業参加者の減少も見られました。
(2) 竹林に関する教育・

研究支援に関する事業では「竹の学校」で受講者の

漸減傾向が続いています。

(3) 竹資源活用事業では「竹灯籠まつり」が横浜国際プール、小机城址市民の森で2年ぶりの開催となりましたがお天気の関係で入場者数の完全復活はなりませんでした。

(4) 資金化計画では固定費の削減が順調に進み、決算数字的には今期で底打ち、反転の見通しを立てることができました。

2. 第9期事業計画

今期の事業環境も厳し

いものが予想されますが

持続可能な成長と発展をめざし、「竹資源の新たな

需要創出と資源循環型の事業モデルの確立」をテーマに活動を推進します。本年を反転の年と位置付け、新規プロジェクトを始動、会の活性化に繋がります。

(1) 竹林の環境保全と活用に関する事業は伊豆の作業日数が7日から3日に減少。他は昨年と同規模の竹林整備を実施します。

(2) 竹林に関する教育・研究支援事業では従来のプログラムに加え「親子体

験教室」「竹工芸教室」の新規開講を予定します。

(3) 竹資源活用事業では、新規プロジェクトとして、たけのこの加工食品「たけの子するめ」の製造・販売を開始します。

(4) 資金化計画では「よこはま夢ファンド」の助成対象団体として登録、寄付活動の推進を図ります。

3. 決算(5ページに開示)

以上、本年も竹林の保全と活用を総合的に推進、持続可能な社会づくりに貢献して参ります。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

4月20日には、たけのこ掘りで、今年は裏年の為、筍の出が悪いながらも開催しました。一般参加者が集まる前に親竹に育成する竹に堀上禁止の目印のピンクテープを巻きつけて歩きました。

掘るだけのこは一人一本と制限し、親子連れや、友人連れなどの皆さんが、それぞれ大きめのたけのこをゲットし持ち帰っていたいただき、好評のうちに終わりました。

5月5日、25日は昨年解体してトラロープを張った場所の垣根の復活で、竹穂垣を作りました。

約20メートルの長さに参加者全員で取り掛かりました。古い単管を苦勞しながら引き抜くチーム。



活動日 4/20、5/5・25 延参加者 30名

胴縁用の20M近い竹を伐採して2つ割りにするメンバー、枝を集積するメンバーとそれぞれ持ち場で作業します。

遊歩道の幅を以前より広くする為、新たに親柱の位置を決め、単管を打ち込み、胴縁を取り付け、竹の枝を差し込み、約12Mを完成させました。残りはおとわずかです、次回、がんばりましょう。

担当 眞板保昌

横浜国際プール支部

3月の間伐は竹灯籠まつり用138本を、定例日2回、有志活動が1回でした。中央とあずま屋エリアでの間伐比は約1対2、密度管理上はまだ100㎡約10本を以後に間伐が必要で

す。竹灯籠つくりと設置は、雨もなく順調に進行したが最古参の丸ノコ1台が毎年何らか異常が出ていたが、遂にダウンしました。室内で台座にボルト固定して使用する姿ではなく竹林内で移動しながら使用によるお疲れでしょうか！竹灯籠まつりは気象条件に恵まれて過去3番目となる多くのお客様を迎え、園路は渋滞で入場制限も複数回かける程で横浜市北部地域の一大イベントという事を改めて

実感しました。

5月は今年最高気温28℃のなかで密度管理・間伐をしたが休憩中にサブプール際、のり尻の後退している話になり、午後から発生材を使って「しがら組」のテスト施工をしました。のり尻に竹の杭を打ち、四つ割器や鉋で竹を割り、緊結なしの組立。

竹バネ式土留柵は今後に向けたサンプルになります。

担当 根岸秀行



活動日 4/5・6・7・13・16・19・26、5/11 延参加者 97名

こどもの国支部

こどもの国は上皇陛下(当時、皇太子殿下)のご成婚を祝う記念事業として建設された公園で、平成最後の月となった4月に、天皇皇后として思い出の地を再訪されたことが話題となりました。

以来、来園者に高齢の方が多く見られるようになったそうです。園内には三大有用竹と呼ばれているモウソウチク(孟宗竹)・ハチク(淡竹)・マダケ(真

竹)の竹林があり、それぞれの筍の時期にあわせ4月は孟宗竹、5月は淡竹、6月は真竹の「親竹の選定と密度管理」を行いました。

孟宗竹林では狭い範囲に密生している間から出ている筍掘りに難儀し、昨秋の強風で巨木が倒れたままの淡竹林では、雑草や葛の生い茂る中に生えている背丈ほどに伸びた細竹を刈り取りました。

担当 丹治 薫



活動日 4/9・23、5/14・28 延参加者 52名

中井町支部

中井町(半分形竹林)、当フィールドはマダケのみが繁茂しており、孟宗竹とはまた、違った風情が見られます。今年度の作業活動は、フィールド中心部より東南方向で、日本の竹ファンクラブ会員の皆様が当初整備作業を始めた区域です。5年程前に再整備を行い今回は2回目の整備を行っています。

作業は主に、間伐・伐採仮置物の処分・運搬・焼却・チップ機処理等を行っています。作業現場は、南斜面で半分形竹林の中では比較的なだらかな地区で、竹取協力隊の皆様にご活躍を頂いております。当フィールドの活動日は、木曜日を中心にしています。体力作業に自信のある



活動日 4/25、5/9・23 延参加者 32名

方と、竹垣作りを体験されたい方は是非、中井のフィールドで汗を流しませんか。ご参加をお待ちしております。

担当石川正壽

伊豆の国市支部

新緑の伊豆の国市での作業は、5月18日に神奈川県側から7名、現地の皆様方は、市役所の職員の方々を含めて、農繁期にもかかわらず9名が参加されました。

今回は、先回から継続中の小川家の隣接地の北側傾斜地の孟宗竹の伐採と古材のチップ処理を行いました。

この場所の特徴は、孟宗竹と真竹の混成地でおそらく昔は茶畑だったらしい豊かな土地で、現在は野生のミヨウガが生い茂るが、このミヨウガの茎の白い部分の香りが良く美味です。

初夏に近い気温の中での奮闘でしたが、概ね計画通り進行いたしました。帰途には地元特産の「いちじ」を格安で譲って



活動日 5/18 参加者 16名



頂き、皆様ご満悦でお帰り頂きました。

担当五十川健郎

都筑折本



4月10日は雨天中止。4月24日の筍掘りは一般参加者はなく、

会員が13名の参加でした。裏年のため生えている数は少なめでしたがお土産の本数は確保できました。掘りた

ての筍で味噌汁、焼きタケノコを作り大変美味しく新鮮な筍の味を堪能しました。

雨水採取装置のドラム缶タンクを小机城址で不要になったポリタンクに交換しました。これまでは、赤錆が除



活動日 4/10・24、5/12、6/4 延参加者 27名

去出来なかったのですが、よりきれいな水が使えるようになります。5月12日は8人、6月4日は4人の参加でした。両日ともに枯れ竹、台風被害の折れ竹、倒れ竹の処理を実施し、また、一番下の境界部の柵にしていた枯れ竹等も片づけました。今回、ご家族で参加の会員のお子様も元気に竹ジャングルジムを楽しめました。

報告山根泰裕

竹林管理コース

一度目、二度目とも午前中は座学、午後から演習という形態でした。

私個人は竹になじみはあったつもりでしたが、やはり実際に整備している現場でないと分からないことも多かったです。特に勉強になったのは、穂先タケノコが案外に食べられるということと、竹の先端の折り方の二点。前者穂先タケノコについては、普通のタケノコよりも可食部が大きいので、こちらの方

■講座 NO.1 5月5日
講義：竹の由来と生態
実習：穂先筍の収穫と竹水作り
■講座 NO.2 5月25日
講義：筍の育成と管理
実習：若竹伐採と竹水取水
講義：城郷小机地区センター
実習：小机城址市民の森
講師：平石眞司・延参加者 10名



が重宝するのではと思うほどでした。しっかりと煮てやると、筋っぽさはほぼ感じさせなく、また干物にしてもおいしく頂けたので春先の楽しみが一つ増えた格好です。

後者のウラ止めについては、ハサミで切るものだと思いますので、振り落とし法というのもあり、簡易的な手法として大変勉強になりました。

報告 大谷悠巴

第12回横浜国際プール竹灯籠まつり

4月6日、横浜国際プール林浴の庭で「第12回 竹灯籠まつり」が開催されました。

3月中旬から間伐を始め、土曜日・日曜日に竹取協力隊員やCSR参加の皆さんの協力で、竹灯籠の製作や設置を行いました。

また、市や関連官庁への申請、近隣のマンションへのポストインや町内会への協力依頼等も順調に終了。5日の前日準備にも多数の隊員の参加で、



設置準備や資材の運搬を行い、カッポ酒用の大筒や、お猪口用の竹コップも製作し、本番を待ちました。

お祭り当日は朝一番で会場を回り、事前に設置済みの竹灯籠をチエックして、倒れていたりしている物を直します。その後水入れを行います。その後水入れを場の急斜面では、誰かが足をすべらせ、せっかく設置した竹灯籠を蹴飛ばし、下にある竹灯籠もガラガラとドミ

ノの様に倒れていき、どこからともなく「ア〜ア」という声が聞こえてきます。水入れの後はロウソク入れ、着火を済ませ、受付の人員・誘導係の配置等を済ませ、17時30分からのお客様の入場を待ち、瞑想の庭近辺に設置した各お店も準備万端です。今年竹灯籠は放射状に設置され、あらゆる方向へ広がる未来への希望を感じました。また反対側から見ると



末広がりでもあります。今年は一時、入場制限を掛けるほどのお客様さんがこられました。お客様から「感動しました」のお言葉を頂き、我々も感激です。

まつりの準備も大変でしたが、その後の片付けも大変です。だがこれが終わってはじめて一連の行事が終わります。そして林浴の庭はいつもの静寂な竹林に戻ります。

また反対側から見ると



報告：事務局

TAKEFAN NEWS

第8期総会が開かれました

今年は、6月16日(日)城郷小机地区センターに於いて13時から開催されました。

出席者総数28名の参加で、1号議案：第8期事業報告並びに収支決算の報告が平石理事長から、監査報告が溝口監事からありました。

次に2号議案：第9期事業計画並びに収支予算書について平石理事長から発表されました。

その後、各議案についてそれぞれ諮られ、議案はすべて原案通り可決承認されました。



その後、新横浜駅近くの会場に場を移し、懇親会となりました。

新入会員の紹介や、久しぶりにお会いできた会員の近況報告などに会場は和やかな雰囲気になって、盛況のうちに終了しました。



新入会員紹介 下線は竹取協力隊入隊者

十河三郎(横浜市港北区)、國藤早百合(横浜市金沢区)、山辺加奈女(横浜市南区)、岡崎ケイ子(東京都西東京市)、谷藤守弘(埼玉県川口市)、大谷悠巴(東京都港区)、斎藤雅人(神奈川県小田原市) 計7名 (順不同・敬称略)

第8期決算報告及び第9期予算

下記の通り報告いたします。 平成31年3月31日

貸借対照表

活動計算書(第8期実績対比予算書)

科目	金額	金額	科目	第8期実績	第9期予算
I 資産の部			I 経常収益		
1. 流動資産			1. 受取会費	419,000	405,000
現金預金その他流動資産	6,193,147		2. 寄付金	20,000	20,000
2. 固定資産			3. 助成金	302,160	3,583,000
有形固定資産			4. 事業収入	3,255,753	3,543,600
資産の部合計	1,082,974	7,276,121	5. その他収益	4	4
II 負債の部			経常収益合計	3,996,917	7,551,604
1. 流動負債			II 経常費用		
流動負債			1. 事業費	2,546,726	3,132,003
負債の部合計	51,770		2. 管理費	3,072,591	2,731,126
III 正味財産の部			当期支出合計	5,619,317	5,863,129
前期繰越正味財産額			当期経常増減額	-1,622,400	1,688,475
当期正味財産増減額	8,846,751		当期正味財産増減	-1,622,400	1,688,475
正味財産の部合計	-1,622,400		前期繰越正味財産	8,846,751	7,224,351
負債及び正味財産合計	7,224,351	7,276,121	次期繰越正味財産	7,224,351	8,912,826

加工食品事業の展開

「たけの子するめ」の生産が始まりました

本格生産の初年度は4月10日に栄養表示分析用のたけの子するめ試験検体づくり、その後4月26日から6月15日までの期間の内31日、延べ人員67名で生産をしました。

味は白だししょうゆ、販売はネットでのオンラインショップ、クラブ主催イベント、出前講座や各地のイベント出展時等にて販売します。



◆平成の初期からこんな歌がCMで流れていました。この～樹何の樹 気になる樹～、名前も知らない樹ですから～、名前も知ら～ない 樹になるでしょう ◆日本を代表する企業グループをみんなで育てる象徴として青空へ、天に広がる木はオアフ島のモンキーポッドでした。見たこともない樹だから～見たこともない花が咲くでしょう～ の歌はさわやかでした◆平成28年に試作を始めた筍からつくる“竹するめ”が、昨年の調理拠点完備でいよいよ“たけの子するめ”として商品化になりました。筍の食分野へ進出の日本の竹ファンクラブ会員と支援をいただくみんなで育てれば花が咲きます◆見たこともない“たけの子するめ”は令和の始まりに、みんなで育てる気になる「筍」になることでしょう。

日本の竹ファンクラブは、
下記の皆様に支えていただいています

- ◆神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
「もり・みず市民事業支援補助金」
かながわの水源環境の保全
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/cnt/f7006/index.html>
- ◆横浜市環境創造局みどりアップ推進課
みどり・公園
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kanryo/midori-koen/>
- ◆中井町産業振興課
<https://www.town.nakai.kanagawa.jp/forms/top/top.aspx>
- ◆公益社団法人国土緑化推進機構 緑の募金
<http://www.green.or.jp>
- ◆ユーピーエス・ジャパン株式会社
<https://www.ups.com/jp.ja/Home.page>
- ◆阪急阪神ホールディング株式会社
阪急阪神未来のゆめ・まち基金
<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>
- ◆サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
金太郎支援活動基金
<https://www.net-stu.com/>
- ◆一般財団法人セブンイレブン記念財団
環境市民活動助成
<https://www.7midori.org/josei/index.html>

お知らせ

1. 退任 2019年3月31日 こどもの国支部長 中元秀幸
2. 退職 2019年3月31日 事務局経理担当小鷹恵子
3. 支部長異動 2019年4月1日 こどもの国支部長 丹治 薫

<活動報告>

- 6月9日 理事会・総会準備
- 6月16日 平成30年度通常総会
- 6月30日 通信夏号発行

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動
※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

9月8日(日)	小机城址市民の森
協力隊	竹林の間伐 10:00～15:00
学校管	実習：竹林の調査・竹林間伐の方法 10:00～15:00
9月12日(木)	中井町
協力隊	竹林のお礼肥と下草刈り 10:00～15:00
9月14日(土)	横浜国際プール
協力隊	竹林の整備(細竹処理と下草刈り) 10:00～15:00

9月15日(土)	小机城址市民の森
協力隊	竹林の間伐 10:00～15:00
9月22日(日)	小机城址市民の森
協力隊	竹林の間伐 10:00～15:00
9月29日(日)	小机城址市民の森
協力隊	竹林の間伐 10:00～15:00